

からくさ



【教育目標】 自律 探究 協働

- ◆ 自ら考え、判断し、行動する
- ◆ 真理を求めて深く学び続ける
- ◆ 目的意識を持ち多様な人々と協力する

【重点目標】 自己を振り返り、学びをつなぐ生徒

生徒たちの活動が始まりました！

PDCAを意識した生徒会活動

今年度の生徒会活動は、「何のために活動するのか」という目的を明確にし、
Plan（計画）—Do（実行）—Check（評価）—Action（改善）
を短いサイクルで回し、改善を重ねていくことを重視しています。第1回の奉仕委員会では3年生が中心となって計画づくりを進めました。「感染症に負けず、世界一健康で元気な学校をつくる」（保健委員会）、「原二中の生徒が本に親しみ、本を読む人を増やす」（図書委員会）、「情報を伝え、全校生徒を楽しませ、学校を活気づける」（放送委員会）など、様々なアイデアが出されました。今後は、これらの目的を実現するために、「だれが、何を、いつまでに、どのくらい」やったらよいかをはっきりさせながら活動してほしいと思います。



部活動ミーティング

今週、部活動のミーティングを行いました。今後どのように部活動を進めていったらよいかについて、2、3年生で話し合いました。生徒達は今の思いを率直に語りました。3年生は、「休校中もトレーニングを続けてきたのに大会がなくなってしまって悔しい」「今までふがいない試合をしてみんなに迷惑をかけてきたので最後は笑って終わりたかった」「ろうきん杯まではやりたい」「夏休みに『校内女テニ杯』を開いてモヤモヤ感を吹き飛ばしたい」など、あふれる思いを語っていました。一方、「長くいると2年生に迷惑だと思う」「気持ちを切り替えて受験に専念したい」という声も聞かれました。2年生からは、「3年生が一度もプレーをしないうちにやめてほしくない」「3年生から突然バトンを渡されても自信がない」などの声が上がりました。こうした生徒たちの思いを受け止めながら、新しい部活動の在り方を模索していきたいと思います。



中体連大会等の中止について、5月19日（火）に放送を通じて生徒達に正式に伝えました。以下はその抜粋です。

各種大会に向かって頑張ってきた生徒たちへ（校長より）

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、中体連の全国大会、県大会、相双地区大会、そして吹奏楽のコンクールが次々と中止になりました。中学校生活最後の大会に向けて練習に励んできた3年生にとっては、悔しいし、悲しいし、やり場のない気持ちだろうと思います。中学生にとって部活動とは、自分の個性や可能性を伸ばしていく場であると同時に、様々な体験や出会いを通して、多くのことを学び、感動や達成感や連帯感を生み出していく場です。こうした機会が失われることが残念でなりません。

しかし、全国の多くの若者達が同じような境遇にいることも忘れてはなりません。オリンピックをはじめとする国内外の大会やプロリーグが延期されたり中止されたりしている中、これらの大会に照準を合わせて血のにじむような努力をしてきたアスリート達は、この事態をどう捉え、どのように乗り越えようとしているのでしょうか。

東京オリンピックの代表入りを確実にしていた、サーフィンの**五十嵐カノア選手**は次のように話しています。「サーフィンは海との戦いでもあるし、プレッシャーやほかの選手との戦いでもある。自分がコントロールできることは準備しかない。」つまり、自分の力で自然をコントロールすることはできないし、対戦相手をコントロールすることもできない。自分がやるべきことは、本番に備えて日頃の練習をしっかりとしておくことだけだ、ということです。

「いつか来るその日のために備えた者だけにチャンスが訪れる」大瀬良大地投手（野球）

「ベストを尽くして頑張っていれば、必ずチャンスがめぐってくる」大坂なおみ選手（テニス）

「スタート台に立ったときには、誰が金メダルか決まっている」瀬戸大也選手（競泳）

一流の選手達は、自分がすべきことをもう決めているのです。そして、次への準備を始めているのです。

「誇れることは、2001年の最初から2019年の最後まで、日々の難題を克服し、日々情熱を持ち続けられたことだ」イチロー選手（野球）

数々の記録を打ち立てたイチロー選手は、最も誇れることとして、「毎日情熱を持ち続けたこと」を挙げました。結果や記録を誇るのではなく、その陰にある日々の積み重ねを誇りとしたことに、私は感動しました。

3年生の皆さん、全てが終わったわけではありません。高校へ進学してからも部活動はあります。その時のために今は全国の中学3年生と共にしっかり準備をしておきましょう。また、これから入部してくる1年生のために、伝えておかなければならないこと、残しておかなければならないものもあるはずです。皆さんが先輩から受け継いだバトンを後輩達にしっかりと手渡してください。1, 2年生の皆さんは、技術やルールやマナーや部活動への情熱をしっかりと3年生から引き継いでください。原町二中の伝統を絶やすことなく、一人一人の手で守っていきましょう。明日の放課後、部活動のミーティングを行います。これから自分達はどうしたいのかをしっかりと話し合ってください。

最後になります。「壁もあったが、扉もあった」これはフィギュアスケートの羽生結弦選手の言葉です。今は壁だらけのように思えるかもしれませんが、必ずどこかに扉があります。その扉を探しましょう。見つからなければ自分たちで扉を作っていきます。腐らず、へこまず、自分にできることを毎日コツコツ積み上げていきましょう。困難な状況にも、強く、しなやかに立ち向かっていく皆さんであることを期待しています。